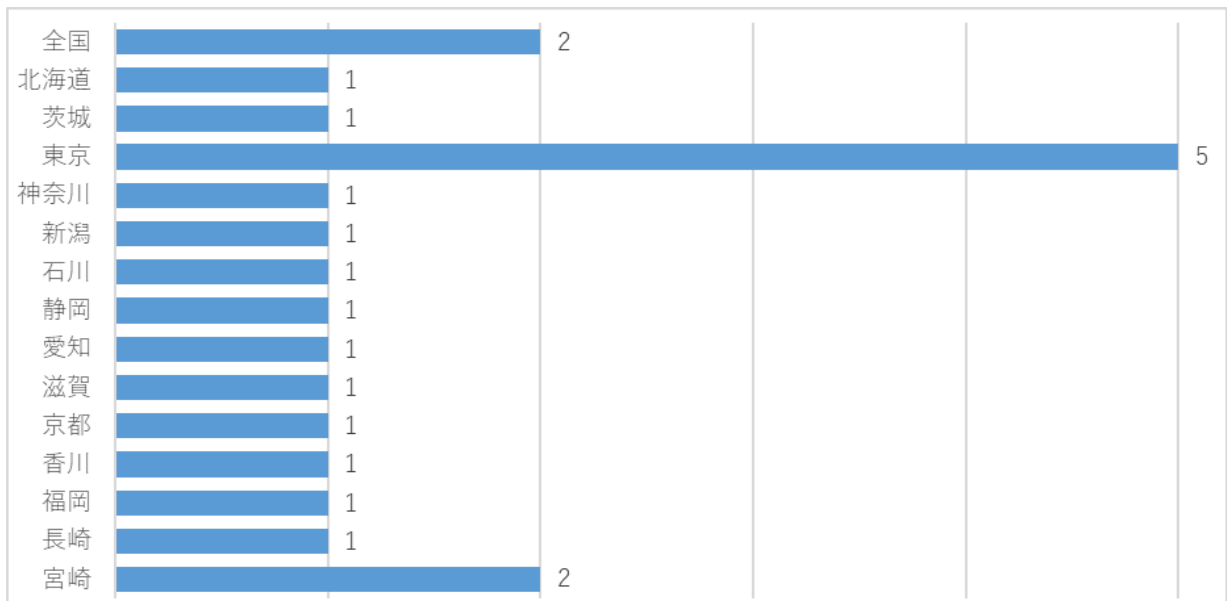


厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター自死遺族等支援室主催
令和4年度自死遺族等支援団体向け研修・情報交換会（3/25）
開催後アンケート結果の概要

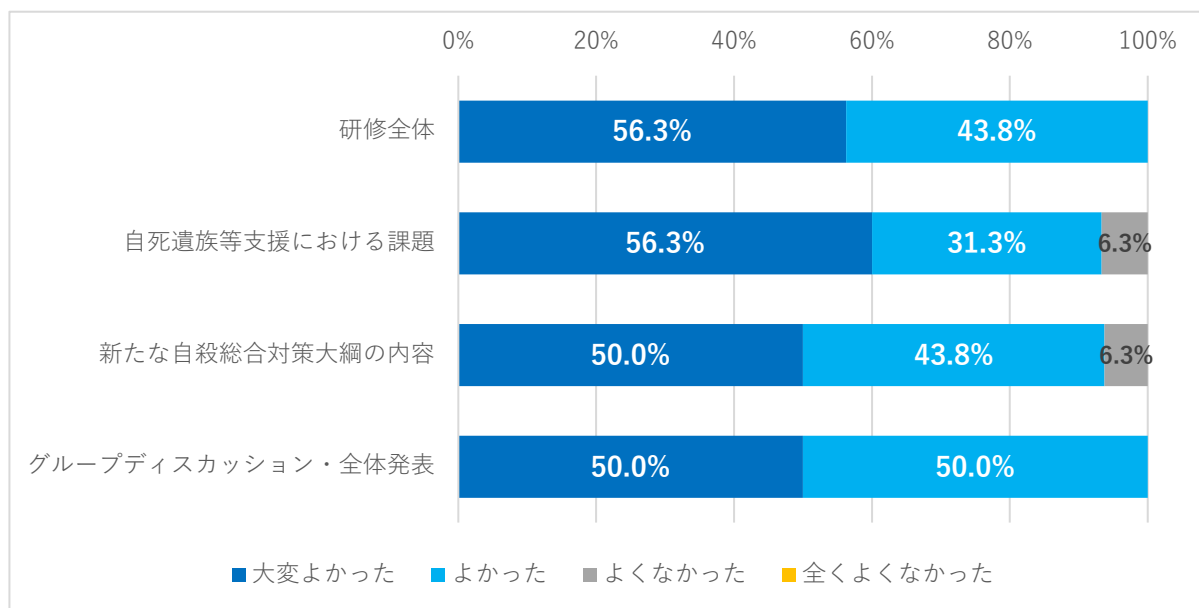
※参加者 21 団体中、アンケートに回答したのは 16 団体。回答率 76.2%。

1. 主な活動拠点（都道府県）



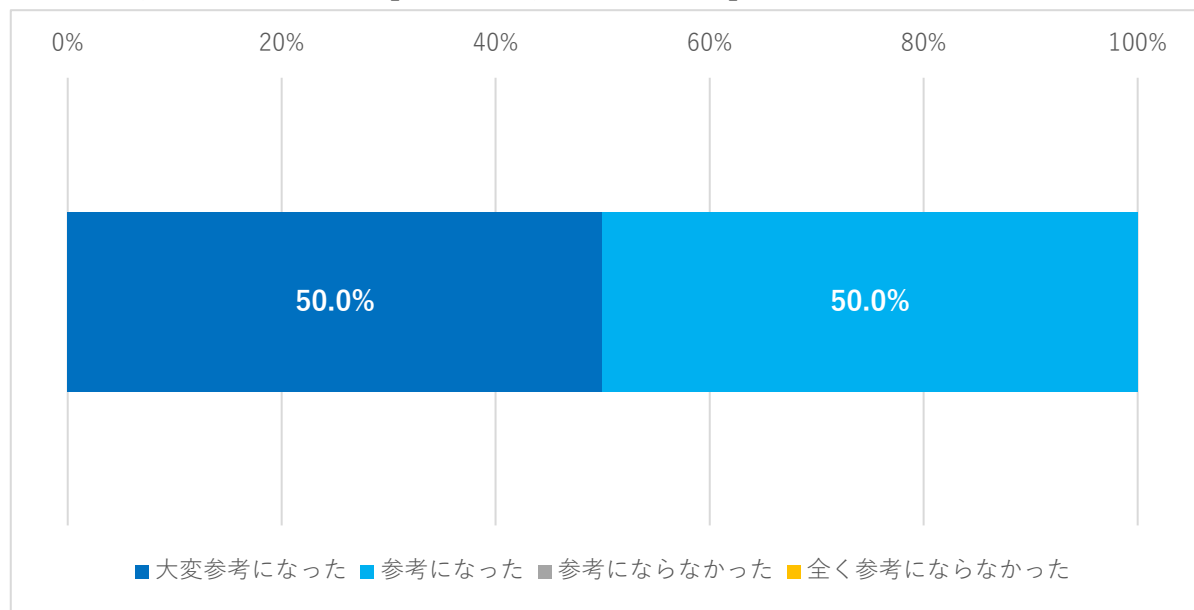
2. 研修全体と各プログラムに対する満足度

研修全体の満足度は、「大変よかった」が 56.3%、「よかった」が 43.8%



3. 今後の活動の参考

今後の活動の参考は、「大変参考になった」が50.0%、「参考になった」が50.0%



4. 本研修・情報交換会の感想や、特に印象に残ったこと・勉強になったこと等（自由記述・抜粋）

- 新たな自殺総合対策大綱の中で「遺族支援」が強化されていることなど、法律的な面を学ぶことができたのは大変有意義だった。地方にいる身としては、全国各地で活動をしている皆さんのお話を聴き、交流ができたことは、そのまま学びとなった。
- 自殺対策や自死遺族支援については、自死遺族が切り拓いてきた道であることを改めて感じ、自分自身もしっかり歩いていきたいと考えさせられた。
- あっという間に時間が過ぎてしまった。自死遺族の当事者になるまでは「自殺対策基本法」も「自殺総合対策大綱」も何の関心も持たなかった。一個人として、また自死遺族の自助グループにいる者として基本法や大綱を知ることによって何ができるのかについて、もっと考えを深めたかった。
各団体ともコロナ禍で苦労されていたこと、会を続けていくにあたっての人材育成について課題だと感じていること、亡くなった場所次第で受けられる支援が異なる現状であること等。他団体との情報交換で、自分たちの団体のことを見つめ直すことができた。
- 事前のアンケート結果はとても貴重で、課題やその重要性が可視化できることで、あとの話し合いなどが円滑かつ効果的にできたと思う。
自治体などとの連携や会場・資金の確保などは活動を続けていく上で、こうした事務的・実務的なトピックは、理念やご遺族への対応などと並ぶとても重要なことだと思う。もっともっと話題にして情報を共有すれば、各団体の活動に還元できる部分が多いと思う。
- つどいの共催や会場の無償提供等、自治体の支援を引き出す働きかけも必要だと思った。
- 各団体ともそれぞれが手探りで工夫して活動している部分が多く、それぞれの知見を持ち寄ることは意義が大きいと感じた。団体同士の横のつながりができて話ができる機会は得難いもので、今回も参加してよかった。
- オンラインやオンラインと対面のハイブリッド開催のトライ＆エラーの話が素晴らしいと感じた。
- 立ち上げたばかりの団体なので、周知と参加者を増やすことが課題だったが、沢山の意見をもらい、参考になった。
- LGBTQ+についての発言の機会をもらえたこと、情報交換の時間にそれぞれの団体の実情の話がとても参考になった。横のつながりづくりになった。

5. 今後、JSCP 自死遺族等支援室で取り上げてほしいテーマや要望（自由記述・抜粋）

- わかちあいを開催していく中で、法律問題やご自身のメンタルについて苦労している参加者が多いと感じている。民間団体としてどこまで介入すべきか、せめて必要な機関へつなぐ情報提供できたらと思っている。他団体様の事例が知りたい。
- 研修参加にあたり、2000年代の研修資料などを見直したが、あの頃は自殺者数の多さや遺族会の黎明期もあり、社会に訴えかけようという機運も今よりもさらに強かったし、社会からの注目度も高かったように感じる。自死遺族支援が普遍化してきたのは良いことだが、遺族支援の活動を安定的に続けていくためには、支援者同士の交流と同じように、各々の団体においても、一般社会への訴えかけを続けていく必要があると思う。
- スタッフが今後できなくなった場合や、意見の食い違いなどに対する対処の仕方。アディクション等や精神的な課題を抱えている遺族への対応の仕方。参加者の言動に対して困ったりした時の対応、スタッフのメンタルのバランスのとり方。
- 他の団体との交流、学術的分野との連携。
- 思春期の遺児支援の実践。
- 行政といかに関わり共に歩んでいくことができるか、またその働きかけ方について。

6. その他の意見や感想

- JSCPの資料について、オープンアクセスにしてもらえれば、今後の活動の参考にできると思う。
- 時間がもう少し欲しい。同じ課題を抱えているグループで課題を共有してから、全体で意見をいただくスタイルにするとスムーズ。
- JSCP自死遺族等支援室のホームページから、全国の自死遺族支援関係の活動にアクセスしやすくしてほしい。遺族会の開催情報の掲示板を作っていただき、団体登録をすれば無料でアップできるようにしていただきたい。
- 最新の情報が確認でき、繋がりがなかなか持ちにくい昨今の状況の中、本当にありがたい機会だと思いました。
- 自死遺族といってもそれだけではないいろいろな背景をお持ちの方々がいるので、「聴くスキル」を身に付ける必要があると感じた。運営者向けの研修がオンラインなどであると良い。
- 年に一度、画面越しであっても、全国各地で活動されている方たちと接する機会を頂けることは大変ありがたく心強い。
- 今回の研修の中で「自死遺族支援弁護団」の存在を知ることができ、早速、会のブログやHPにリンクを貼ることにした。必要な方に必要な情報をつなぐことができればと思っている。
- 今までだと首都圏まで遠征しないとこのような全国規模の研修会は成り立たなかった。コロナ禍は様々なものを破壊しましたが、一方でZOOMやYouTubeといったオンラインの可能性を広げた。井の中の蛙大海を知らず、他団体との学びの場になった。年1回でもこのような会があればと願います。

以上